



# 令和5年度 袋井土木事務所長あいさつ



中東遠地域の皆様

～～～備える～～～

このたびの能登半島地震により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

今回の地震では、いたる所で道路が寸断され、半島といった地形的な要因も重なり、未だ被害の全容が掴めない状況です。

道路の寸断で、救出・救助や医療活動に携わる人員が現地に入るのに時間を要し、水や食料をはじめとした物資等の支援がなかなか行き届かないなど、改めて災害時における道路網の確保が重要であると認識させられました。

当土木事務所においても、発災直後の道路啓開は最優先事項として捉えており、情報収集の手順や建設業協会との連携を訓練を通して確認をしているところであります。

被災されたほとんどの方が「備えていたことしか出来なかった」と言います。

大事なものは、自分の現在地や時間帯等、あらゆる局面で災害をイメージし、備える事だと思えます。

事前の備えで、その後の対応に大きな差が生まれます。

当地域では2年続けて大きな災害に見舞われました。

令和6年が、平穏な年であることを心から願うとともに、本年も地域のため、地域の皆さまに喜んでもらえる仕事をして参りますので、引き続き、建設行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年1月4日

所長 榊原正彦



～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部

